

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号		
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	スポーツ基本法（第32条）					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和44年度～）	
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	1.保健体育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	昭和44年4月1日真岡市体育指導委員に関する規則を制定、委員20名以内、平成21年の合併に伴い委員30名以内、任期は2年（H24.4.1～H26.3.31）となる。 平成23年度に名称が、体育指導委員からスポーツ推進委員に変更となる。 スポーツ推進委員は、スポーツ振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。 スポーツ推進委員の各種研修会・講習会、大会等への参加派遣。スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力することがスポーツ推進委員の主な職務である。 報償費（1回当り8,500円）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 24年度実績 定例・月例会議（10回） ニュースポーツの普及・講習会の実施 芳賀地区スポーツレクリエーション祭・ニュースポーツ大会の企画・運営 真岡井頭マラソン大会競技補助 各種スポーツの研修会・講習会・教室等の参加 25年度計画 前年度と同様な計画	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	会議、研修、講習会回数	回	27	28	37	41	38
イ	報償額	千円	1496	1564	1428	1513	1955
ウ							
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 スポーツ推進委員	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	スポーツ推進委員数	人	26	30	30	30	30
イ							
ウ							
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） スポーツ推進委員が職務を行う上での資質の向上とスポーツに関する行事等への協力参加を高め、真岡市のスポーツ振興を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	会議、研修講習会の延べ参加者数	人	307	399	420	412	410
イ							
ウ							
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民のスポーツ活動の普及、振興を図るため、各種スポーツ教室の講師として活動、その他各スポーツの指導に協力する。市民ひとり1スポーツの実現を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	スポーツレクリエーションをしている市民の割合	%	55.4	54.8	49.6	50.5	53.0
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,410	2,109	2,041	2,064	0	
	事業費計(A)	千円	2,410	2,109	2,041	2,064	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	0
		人件費計(B)	千円	811	854	848	840	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,221	2,963	2,889	2,904	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	スポーツ振興法による。（昭和44年～平成23年） スポーツ基本法による。（平成23年～）
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	市民のニーズは、スポーツ種目の多様化とともに、競技スポーツから健康や体力作りの為のレクリエーション型の種目へと、幅広くなっている。生涯スポーツ社会の実現の為、スポーツ推進委員には様々なスポーツニーズに対応できる資質が求められており、スポーツ推進委員の活動の重要性は増している。スポーツ推進委員は任命から委嘱に変更になった。身分は、非常勤職員である。 定数が、当初20名以内から平成21年3月23日二宮町との合併に伴い130名以内に変更された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	スポーツ推進委員の活動内容を住民に知らせる。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市のスポーツ振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある スポーツ基本法に基づき、スポーツの指導を行っている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の運動習慣の定着を目指し、スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の研修会、講習会等の活動に積極的に参加している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない スポーツ基本法に、規定しているため廃止出来ない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 報償費のみであり、これ以上の削減は出来ない。 活動のための、必要最少限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議や講習会等の開催事務のみであり、これ以上の削減は出来ない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある スポーツ基本法で定められたものであり、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							